THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2018-2019）
国際会長主題 ："Yes, we can change"「私たちは変えられる」
アジア会長主題："Action！"「アクション！」
西日本区理事主題："Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future"
「未来に残すべきものを守り育てる」
中西部部長主題：「次代につなぐ夢と希望」
クラブ会長主題："With You"「あなたと一緒に」

Monthly Bulletin
第 267 号
2019 年 4 月

聖書のことば
・・「だから、言っておく。命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思い悩むな。」
ルカによる福音書 12 章 22 節

４月第１例会プログラム
京都トゥービークラブ＆大阪なかのしまクラブ DBC 例会

日時：2019 年４月 13 日（水）10：30～14：30
場所：アクアライナー
「ラルゴ」中之島フェスティバルタワー12F
第1部　アクアライナーにて遊覧

第2部　「ラルゴ」にて懇親会
司会　鳥居　翠
1. 開会点鐘　國友　朝子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　瀬島　恵子
4. ゲスト・ビジター紹介　両クラブ会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金　ドライバー
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　溝口　誠 会長

例会当番（B）　受付当番（A）

３　月　統　計		
第１例会出席者数	例会出席率	Ｂ Ｆ 統 計
メンバー　16 名	出席者　16 名	日本　７５０ｇ　累計 1130ｇ
ビジター　1 名	メイキャップ　2 名	外国　0ｇ　累計　83ｇ
ゲスト　名	合　計　18 名	現金　円　累計　円
コメット　1 名	在籍者　19 名	提供者：生雲、今井、大橋、桑原
合　計　18 名	出席率　94.7%	武井、藤井、藤好

３月例会報告

おばあさんの民話聞きませんか？

吉田　由美

３か月ぶりの古巣、ホテルグランヴィア大阪での例会です。『おばあさんの民話聞きませんか？』なんて、「何が始まるのかしら？」って思っていると保田圭子さんのメンバー卓話が始まりました。

遠江国の見附村では、田畑が荒らされないように毎年白羽の矢が立てられた家の娘を人身御供として神様に捧げる習わしが続いていました。「神様がそんな悪いことをする筈が無い」と思った旅のお坊さんが、正体を見極めるためにお堂に身を潜めていると・・・と続く早太郎伝説のお話です。

私たちはどんどん保田さんのお話に引き込まれていき、お話の最後には目を潤ませながら聞き入ってしまいました。幼稚園の先生として、長年保育をされてこられた保田さんですが、私たちは完全に幼稚園の生徒に成り切っていました。「先生もっと！もっとお話し聞かせて～」と、おばさん生徒たちは先生にお話のアンコールをせがみ、「山姥のお話」も聞かせていただきました。

例会に参加した誰もが、お話の舞台となった『光前寺』や見附村が何処にあるか気になった事でしょう。遠江国見附村は現在の静岡県磐田市、信州信濃の光前寺は長野県駒ケ根市に現存しており、地図上の直線でも 120km、自動車ルート検索では 165km も離れています。光前寺の仁王門から大講堂付近を中心に、およそ 70 本の枝垂れ桜が植えられており、もう少しすると満開の

時期を迎え、期間中にはライトアップがされることもホームページに記載されています。早太郎のお墓は本堂の横にあるそうです。

思い立って急に早太郎のお墓詣りをしたいと思われた方、ご一緒に早春の信濃路を歩いてみませんか。

保田さんのお話の引き出しは、まだまだ有るそうです。次回の『おばあさんの民話』を待ちましょう

☆☆☆

旧約聖書の女性たち

江見　淑子

4. サムソンとデリラ（士師記 21 章）

メンバーからリクエストがあった物語から、今回はデリラにしました。映画や歌曲もある、悲しいお話しです。

モーセに導かれてエジプトを脱出したヘブライ人は約束の地に自分たちの国を作るための長い旅をしました。モーセの後継者も失い、やがて群れは自分たちの神を忘れるようになり、他国の神を礼拝することさえありました。神の怒りを受け周囲の強い国から攻撃されることも起こります。神はイスラエルの困難に対しリーダー、「士師」を送りました。士師とは治める、裁くという意味で、軍事的リーダーとしてイスラエルを導きます。

ペリシテという強い国からの脅威にさらされていたとき、子の無いマノアとその妻の願いが聞き入れられ、生まれたのが士師サムソンでした。マノア夫婦は生まれる子を神にささげる約束をしたので、生まれる前から食べ物その他の約束をしました。子どもの髪に剃刀を当てず、決して髪を切らないように神に命じられます。成人し、サムソンには神の霊に満たされると怪力無双のエピソードがうまれます。ライオンと素手で戦うほどの力を持つようになり、多くの敵を倒しました。弱点は女性に弱いことでした。好きになったデリラは敵にサムソンの怪力の秘密を暴くよう言い含められていました。女の魅力を全開し、寝物語から髪の毛の秘密をききだし、サムソンの髪を７房切り取りました。サムソンは力を失い、敵に掴まり、奴隷のように働かされます。悔いて働き、祈るサムソンにはやがて髪が伸び、力が戻ります。敵の宴会の時、柱を壊し、自らの命と引き換えに復讐をとげました。

さて赤子の様に腕の中にいるサムソンを騙し、敵に売ったデリラの気持ちはどうだったのでしょう。一人生き延びたデリラのその後やいかに・・・。色仕掛けに強い友達がいないので、想像も難しいのですが？

３月第２例会報告抄

日時：2019 年３月 20 日（木）18:30～20:30
場所：大阪 YMCA・土佐堀会館 504 号室
出席者：12 名

1. 4 月第１（DBC）例会について、プログラム委員より詳しい説明を受けた。
2. うなぎの森植樹祭（5/12）について説明があり、今回参加できないメンバーは、実行委員に各々の苗木代を託した。
3. 次期事業委員の中間発表があった。
4. 「渡辺宏子さんを偲ぶ会」について話し合い、実行委員を決めた。
5. 日本YMCA同盟ユースファンド事業「上田キッチン」について、入場者 190 名（内 104 名児童）など開催模様の紹介があった。

〇〇〇の頃の私

「35 年前頃の私」

杉浦 眞喜子

今から 35 年ほど前、1982 年から 1983 年にかけて、カナダ　アルバータ州の州都エドモントンという街で、アルバータ大学化学科での博士研究員として 1 年余り研究生活を送りました。初めての海外、英語があまり得意でない私にとっては、不安と緊張で始まった海外生活でした。

エドモントンに着いて未だ 1 ヶ月も経っていない頃でした。大学の構内で、黒人の男の人に突然声をかけられ「ジョージは帰ってきたか？」と聞かれたのです。最初は聞き間違えかと思い、「パドン？」と聞き返したりしましたが、やっぱり「ジョージは帰ってきたか？」と聞きます。この人きっと私を彼の友人ジョージの奥さんと間違っているのだと判断し、無視することとして、さっさと歩き出しました。 するとその彼はなおも追いかけてきて「Prof George Kotovych は帰ってきたか？」と聞いたのです。私はハッと気づき、飛び上がりそうになりました。そうです私の上司 George Kotovych 教授は、今オーストラリアへ出張中でした。彼は私がジョージ（George）の研究室メンバーと知っていて、聞いてきたのでしょう。慌てて「・・not yet・・」と答えました。お互いファーストネームで呼び合うということ、知ってはいましたが・・

こんな失敗は数知れず、でも楽しい１年余りでした。カナダに旅立つ前に、大先輩の偉い先生に「海外研究生活の目的は３つ、第１は研究をしっかりすること、第２は友人を作り海外生活を楽しむこと、第 3 は観光、これら全部は無理なら、この逆の順番で頑張ればいい」とのアドバイスを頂きました。（誤解を招くといけないので、続いて言われたその「心」は、「日本人は真面目なので、その程度の気持ちで行っても、大丈夫成果はあげられる」というものでした。）

そのアドバイスを胸にしっかり刻んでのエドモントンでの生活は、ちょっと大げさに言うと、私のその後の生き方に少し影響を与えてくれたように思います。カナダの人たちのおおらかな「生活を楽しんでいる姿」が、大学での仕事大好き人間だった私に、仕事以外の「生活を楽しむ」ことを教えてくれたように思います。　カナダから帰ってきて比較的早い時期に誘われたワイズにすぐ入る気になったのも、そのせいだったと思います。

◇4 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
桑原　頼子　27 日

= お知らせ =

◎ 上好さん、笠井さん（今井さん友人）から BF 使用済み切手を頂きました。感謝！

ニコニコ献金　３月　17,500 円

〈ニコニコメッセージ〉－３月例会 －

☆ “なかのしま Ｙ‘ｓ”の例会に参加できたことを嬉しく思います。いつもながら明るく元気な雰囲気に引き込まれております。
（大阪センテニアルクラブ:山田孝彦）

☆ 春は名のみの風の寒さや・・そんな日々ですが、今夜は保田さんの優しい語りで童心にかえりました。
（生雲）

☆ 一度覚えていたのに慌ただしくしている中、出席して司会役をさせて頂き、戸惑いました。でもスピーカーが保田さんで、楽しく助けて頂いて感謝です。今期もあと３カ月元気で頑張りましょう。　（今井）

☆ 定まらないお天気でしたが、ほっこりして帰りました。お話しの魅力は永遠ですね。　（江見）

☆ 保田さんのお話を聞いていて子どもに戻った感覚になりました(笑)。大人にとっても子どもにとってもこのように「語り」で聞くことは、情景が頭の中に浮かべながら聞くと想像力が高まる感じがします。
（大橋）

☆ ７年ぶりに花粉症となり、クシュン　クシュンとうっとうしいこと。でも３月９、10 日がんばって箱根、強羅に出かけ、美しい富士山、地獄谷を満喫していました。　（大岸）

☆ 子どもの頃、なぜか民話をきいた覚えがまったくありません。こういうお話は私は苦手かも。今夜は美帆さんと和子ママが欠席、不在感は大きいなあとつくづく感じました。　（国友）

☆ 今ごろ五十肩、痛いイタイ。いつの間にか治るらしいけど、その「いつの間に」はいつ？　（桑原）

☆ 年度末、年度初めのいろいろ、身体も頭も２つほしい！！でも新しい出発の時は、いつもうれしいもの。がんばって、楽しくやっていきましょう。　（杉浦）

☆ 元気な日々を与えられ、例会に出席出来ることが楽しみです。　（瀬島）

☆ 久しぶりの例会です。３月は卒業式で、ずーっとねむたいです。　（鳥居）

☆ 東京たんぽぽクラブさん第20回 libyチャリティコンサート楽しく参加できたことうれしかったです。
（藤井）

☆ 今夜の例会で、むかし息子たちへ毎晩創作話をしたことを思い出しました。「シュンスケ・リュウスケとおにたクン」という話で、息子たちの大好物だったドーナツも出てきます。よくおやつにドーナツを作ったことも思い出しました。（うちの息子の名前は、シュンとリュウです）　（藤好）

☆ ２月例会とかわって３月例会にお話しさせていただきます。イロイロややこしいことになりましが、がんばりま～～す。　（保田）

☆ 年度末のバタバタの時期ですが、保田さんのお話しの日、来れました！！（嬉）　（山佐）

☆ 早太郎のお墓詣り、枝垂桜、雪の残る南アルプス駒ヶ岳。早春の信濃路に行きたい！　（吉田）

☆ ご近所のこぶし(白木蓮)の花が咲くと隣の病院の桜が咲くのも待ち遠しい。あと半月で満開になるでしょう。
（吉岡）

欠席者からのメッセージ

☆ アトリエゆうハウスの研修旅行に行ってきました。
（武井美帆）

☆ ２泊３日ゆうハウスのメンバーの保護者の立場とスタッフの立場で、参加しましたが、個性の違う子どもたちを引率していくむつかしさを、改めて感じ、中井先生の深い愛情に感謝です。　（武井）

YMCAニュース

★ 第 312 回早天祈祷会
日時…2019 年４月 19 日（金）７：30～８：30
奨励…森田 喜之さん
（日本キリスト教団大阪福島教会　牧師）
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

７月のアジア大会で**「平和七夕の吹き流し」**を飾るために「折り鶴」を集めていらっしゃると聞き，私たちもお手伝いしたいと・・
第２例会前にワイワイ言いながら折っています。
「どうするんだったけ？」「それ違う！ここはこう！」などなど、手より口の方が動いてる・・・？

編　集　後　記

各地で桜開花の便りが聞かれます。不思議と東京や名古屋より、そして京都より、大阪、神戸の方が開花が遅いのですね。

桜の季節は、年度の変わり目。「年度替り」など関係なくなった身でも、何となく気持ちも新たに新しい歩みを始めたくなります。ワイズの年度ではむしろ最終ラウンド、ワクワクしながら、次期へ繋ぐ歩みを進めましょう。